

【樹木・草花の部屋】

クンシラン（ヒガンバナ科クンシラン属（クリビア属）Clivia miniata）

和名；クンシラン（君子蘭） **別名**；ウケザキクンシラン、クリビア **英名**；

ユリ目 多年草

原産地；南アフリカ

花言葉；高貴、貴い、幸せを呼ぶ、望みを得る

花の色；朱赤、薄黄、白、桃



← 写真－1 クンシラン

撮影日：2003年2月15日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者；Mさん

半耐寒性とはいわれていますが、冬場、特に霜に曝されると枯死する危険性が非常に高い植物です。我が家では毎年、秋の終わりごろから屋内に入れています。が、数年前、「まあ、いいだろう」と思い、冬季に屋外に放置していたため、ほとんどが……。最近、やっと、残された一部の株が蘇って花を咲かせてくれました。やはり、寒さには要注意。

君子蘭の育て方

- ・直射日光を避け、風通しの良い北側で育てる。
- ・鉢植えの場合は、葉の向きに気をつける。

君子蘭の特徴として、葉の向きが、南北に延びる特性がありますので、常に葉を南北にして鉢をぐるぐる回さないように育てる。

- ・増やす場合は、種を蒔いて増やすか、株分けで増やす。

【樹木・草花の部屋】

＜ちょっと一言＞

クンシラン（君子蘭）はヒガンバナ科クンシラン族（*Clivia*：クリビア）の植物の総称。「ラン」とつきますが「ラン」にあらず。園芸用の流通名がクンシランであるウケザキクンシラン（受咲き君子蘭、*Clivia miniata*）が一般的。クロンキスト体系ではユリ科。

肉厚の葉とオレンジ色の花を楽しむ園芸植物。日本には明治時代に入ってきましたが、日本では花だけでなく葉も鑑賞対象となり、独自の園芸分野を築かれ、古典植物として扱われているようです。

クンシラン（君子蘭）は、株元から光沢のある細長い葉を左右交互に出します。葉の幅が狭くて長くなり、全体的にすらっとした株姿になるものを**高性系**、幅短く幅広でコンパクトな姿のものを**ダルマ系**と呼びます。葉は、細葉や中葉、広葉、斑入り/斑無等、種類が豊富だそうです。

クンシランは元々、クリビア・ノビリス〔*C. nobilis*〕に付けられた和名ですが、現在は別種のクリビア・ミニアタ〔*C. miniata*〕を指して「クンシラン」と呼ぶのが一般的だそうです。一般に出回っている種類だそうです。ノビリスが下向きに花を咲かせ、ミニアタは上から横向きに花を咲かせるので区別しやすいと思います。

漢字では「君子蘭」、名前の由来は元々クンシランと呼ばれていたノビリスの名前から来ているそうです。ノビリスとは「高貴な」という意味で、それに「君子」という言葉を……。ちなみに、ミニアタは「朱色の」という意味。

ムラサキクンシラン（紫君子蘭）とも呼ばれる[アガパンサス](#)（*Agapanthus*）がありますが、クンシランとは科が異なります。アガパンサス（*Agapanthus*）は、ユリ科（＝ネギギ科）アガパンサス属。